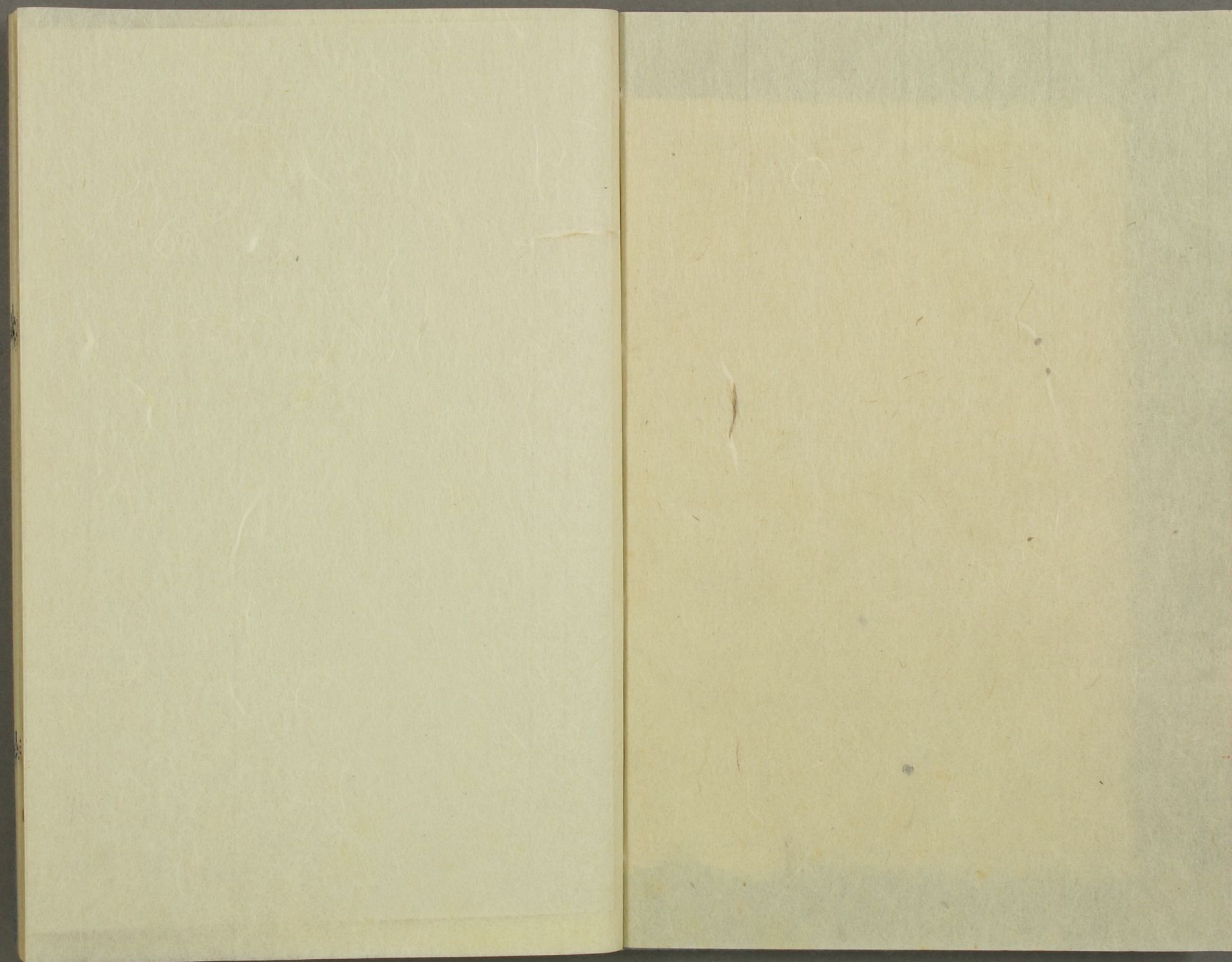


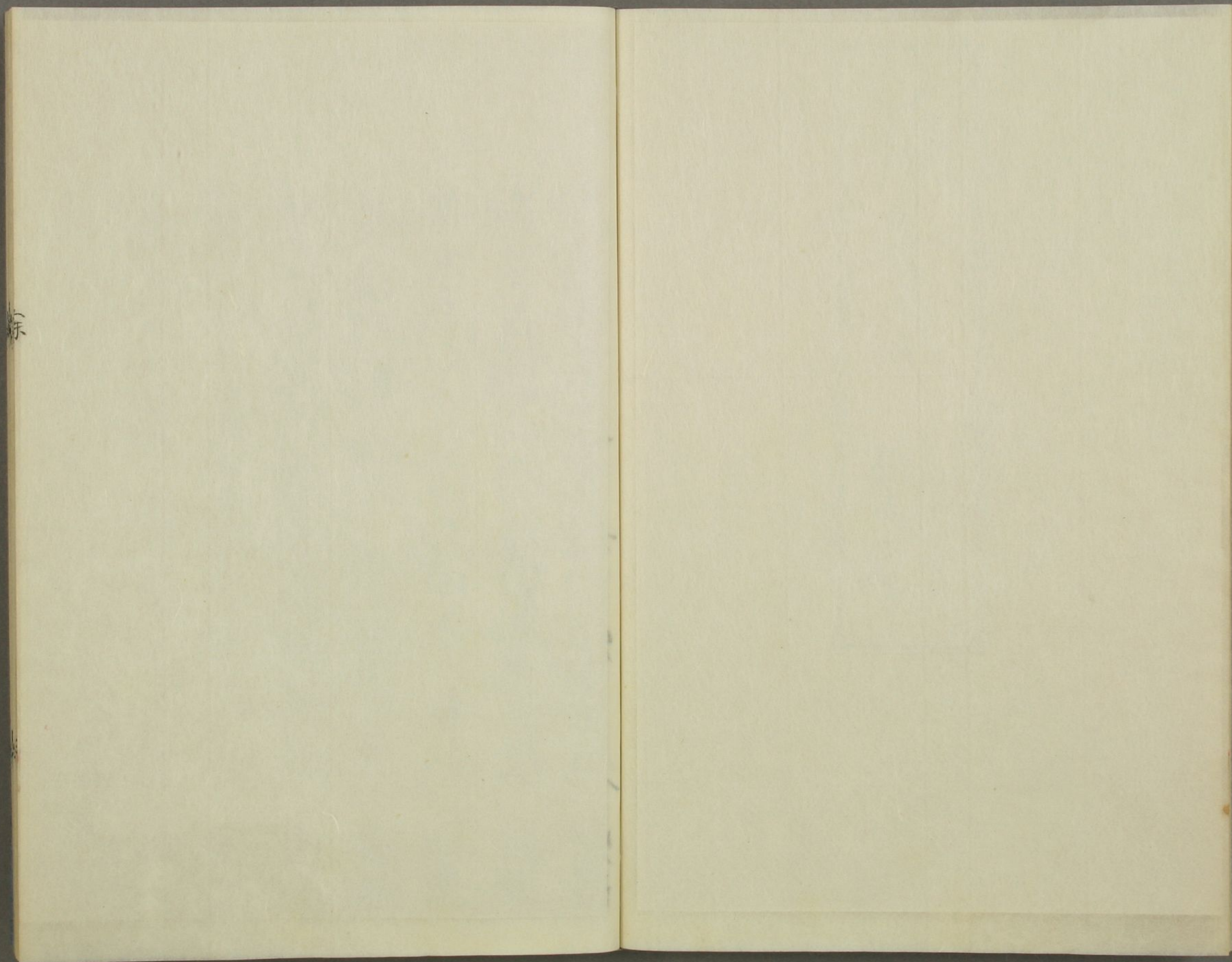
中村俊定文庫
文庫 18
86





福也

常矩六吟
よ〜





常矩

鳳首カンクビや瓦燈クラトウのまのひく秋の色

趣向す先て一二勺乃月 定治

箔の鯉麻の毛カサさふぬらん 由卜

饅頭の飛カ山うーーうう 宗雅

七五三ふれほこの夕日新 如葉

あま棧カあ乃村カまの松 利次

引カまそと力カ雑式カ猿カさカじカ 定治

甲頭巾ウの窓カあろーぬく 常矩

袋カさす腕カのつカのカたカらカひカか 宗雅

火箸ヤキ焼カして水カきあカらカら 由卜

くしカむれカむカらカーカ乃カ穴カぬカるカ乳 利次

かまカとカそカーカ毛カ竹カまカ暖カ簾カ 如葉

大和ヤマト膏カ皮カ付カ丸カ太カ台カ乃カ露 常矩

忍カひカのカほカれカ更カ科カそカんカ月 宗雅

恋カのカ妹カさカるカあカつカ今カこカらカや 由卜

うつりて涙鼻聲なみそん共と 定治

錦にしんの野のささととるる玉たま相あ見みて 如葉

汝なんぢ本もと来きた 素すふふ麵めん かんかん ああ 利次

六む塵ぢん乃の油あぶら字じととぬぬくく法はのの凡ぼん 宗雅

出い内ない火か宅たくのの門かど乃の灰あし汁じゆ薬やく 常矩

くくのの帚しゆ式しき部ぶのの花はなををりりきき捨すて 定治

返かへ申まをくく小こ蝶てつ夢むのの浮う橋はし 由卜

^名 女め友とも五ご等とうににいいててななるるのの 常矩

朱しゆ朝あさももももててをを越このの白はく山さん 如葉

老らう和わ尚しょう跡せきののおお人ひと自みづか益やく有あ讚げん 利次

誰たれ位ゐ於お多たのの朽くるる朽く釘くわう 定治

挾くわ箱はこ解とのの律りつややととららははららん 由卜

骨ほね桶づつつつののああよよ 谷やここんん 下水 宗雅

奥おく乃の院いん峨がくくののおお人ひと自みづか益やく有あ讚げん 如葉

月つき子こののそそららんんるる木き食じきのの考こう 常矩

ととわわくくとと言いふふのの詔みことこと巴ののの夕ゆふきき 定治

長者所今淺茅生乃露 利次

汗の玉霰きししる四枚肩 宗雅

うろくた^し急^き気也風も地 由卜

高生あいの〜その我初瀬山 常矩

尾との糸はのつてなま^多心 定治

雲一筋も矢則なるいろち 利次

たの眼なる夕 立 如葉

小便耶大名風のうら^ん 由卜

是居はまわて依々木同答 常矩

河音やまじしゆのま^ん復なるに 定治

死旅抄あて波も^ん出舟 宗雅

花より^ん定ま^ん始^る山を^りあ^るを 如葉

年代記よき^んあ^る春 雨 利次

常矩八 定治八

由卜七 宗雅七

如葉七 利次七

利次

斤腕や松よのこゝとて猿の月

天狗のゆく傍ぞの秋風 宗雅

竹内をすゝ一流の霧らそ 常矩

了代極の野道乃夕暮 如葉

指抄この根こをこれ草こやこあこらん 定治

七本鏈の早苗とる 比由卜

矢倉幕ある鶴のこゝとて言す 宗雅

大挑灯やう乳河波 利次

或ウ時ハ壳ハ化ハて柳陰 如葉

賣家ウのウて軒ウさんウまウる 常矩

扱ウ家ウのウ春ウ階ウ子のウとウ風ウ骨ウ 由卜

報中切菜ウのウとウらウつウのウ巖ウ 定治

後ウ塵ウおウ志ウらウ白ウ乃ウ朝ウ日ウ叙ウ 利次

あウちウやウくウのウ村ウ鳥ウのウ殻ウ 宗雅

もめんゆぐ竹の下露むとて 常矩

多りよふおん鮫肌の月 如葉
秋の如く鮫の皮れり次情 定治
料理れか子あつたれよきり 由卜
八佛事貞徳の代えん夕録 如葉
名おね田乃西そん實相寺とて 利次
友雲雀花よあつて自我場じがが 宗雅
看病あぶら秋のやげり 常矩
^名おしゆあつたの他人 宿 由卜

月切の契姉と背そん山 定治
旅せく居えれ流は流今日わ 常矩
且那もまてとありつわきの 如葉
袖枕四辻の流りわろひんよ 利次
伏見の里そん同類をとる 宗雅
沢紙衣あつて文字れん欠こ 定治
新たあつが松貞 盤乃月 由卜
黒縁くろの字あつよけく藤袴 如葉

むねのあまきれなきまの鬼 常矩

海らふやひのわらぬ雨のま 宗雅

まへカウくよ神さる一丈 利次

茶碗の酒其外種ぬけ物 常矩

木乃枝よついで十とよみ後 定治

氏勝りりしとづかり足袋ぬん 由卜

緑の神や 仕キセん方うしん 如葉

風呂乃猿水よりひこすす 利次

岩り根まらるるあられの髪 常矩

世中れりしをかんあつて 定治

ありれつきの小紋うさん 宗雅

坊まされ花のこさうり 常矩

又臺まらよもつとれま 由卜

利次七 宗雅七

常矩九 如葉七

定治七 由卜七

如葉

女郎花のゆるる鶴やゆてい

壺よりいゝる麻の志うらみ 由卜

ふ十町坂の風ふく月暮て 定治

草鞋一足らきれゆく雲 利次

夕立や麩桶よ波を濁すん 宗雅

河の巻ひくさ 河そのひの竹 常矩

木戸番れ声よむらうる夜雀 由卜

跡る弦しめれ憂あらうたわ 如葉

天鵝毛ウヒトリの枕わらきそし鳥山 利次

こ日ゆりれもその浦波 定治

垣子浮やとひと人肩そて 常矩

露の毛衣紋がうらりぬ 宗雅

小落馬おちまをこまのうら松の杖 如葉

新寂靈位 風并そ月 由卜

二挺鐘せのそ夕とそゆて巻 定治

奇進乃挑灯小野れあるる 常矩

系役者をも名埋てる初をに 宗雅

今物つひめれ答くまらぬ 利次

設取神もふれくたれぬす 常矩

やりののまへり天秤がたる 如葉

塵劫記よこをねんゆる山の志 由卜

立所のおもしあふるる東風 定治

^名お目仲やうわあひひる村産 利次

小うなるきりて鳥さん物 常矩

茶屋女さうりい教乃下かくし 如葉

才^{ハシ}禊の垢 志れ埋井 宗雅

ゆゑに病^ヤ泪の真つらまてぬ 定治

くつらぐさきそく水のいんが根 利次

飛雪うらまの文字わたりすん 常矩

念法師とて所とちうらむ病 由卜

毛纏や麻さふらふぬら後 宗雅

カウ乃大冬初冬入のるんら 常矩
皇代銀布代のこめよふかそ 利次
年一号月日書とめん一紙 如葉
利算有算のまじらわ秋の色 由卜
是北島高とふま野の露 定治
つと鶉おてつぐもふん本とて 常矩
声乃丸屋代取まう早 由卜
てつとこれ音をた風の高き 如葉

春日通乃まうらて 山 宗雅
いそれ松自ののちよふあなら 定治
正筆代雲花結夕く 常矩
駕の日連よりれ考ノ結く 宗雅
君り都の代と流 新式 利次

如葉七 由卜七
定治七 利次七
宗雅七 常矩丸

宗雅

うかひのうらな色吐ふれ海

種い波る家木刺のせ戸 如葉

凡の垢細江の月や湯うん 利次

ほいふれむら塵出しき電 由卜

棒鞘乃ほふれ君曉る五月雨 常矩

屋敷のむら風わらぬちり 定治

御本紙をさうけいさき葛葉結て 如葉

み年色くぬ松をまじりま 宗雅

龍乃鯉行まのほむるひよわ 由卜

水あやつりろと重れ夢 利次

言棚よ白木錦けうととるん 定治

ハのうらな色をいひさき酒 常矩

片^{カタ}や^チ諸行無常を唱ふん 宗雅

初夜^{ハツ}のひらきれ^ハる水責 如葉

早か^{ハヤ}る籠^{カゴ}や入^イる^ル木^キを^をと^とぬ^ぬ 常矩

御蔵うつりて無ひの者なむ 申卜
目の色よ物おとすと 俄る 利次
いく夕暮りしよるる 和麩 定治
月のせき露掃ふまぬとらふこ 如葉
烟袋もくも方のまのけり 宗雅
針さしやぬてふまの色々 由卜
小鼻緒ともゆらぐひとの色 常矩
^名傘やともむらむら 柳家 定治
揚屋入とふ天乃香久山 利次
来りて留て行水の波衣はと 宗雅
あんなるむらむら夕涼し 如葉
ふらふらぬ濁しぬる蓮はて 常矩
如來の塵 金魚なむあり 由卜
見えささく音光のこぼる 簾 利次
豆腐の串や 名 常矩
とらてふらふらむら横て 如葉

のほちつめそひさうたひり考
定治

雲よ然くたふのわさうま
由卜

末世の無生一別毛のる
宗雅

月さすくやる他力の楊胡鉚
常矩

そりりの下乃三河の妹凡
利次

燐ウケ蠟ホ色つとあひて樵木所
定治

こに野郎のひよと磨丸
常矩

た吉笠人目の関やゆすん
宗雅

襟の布賦ふれそまをなす
如葉

筒ト簾ツの矢念ふかり番うら
利次

耶カの駿河強飯イれ富士
由卜

千ヒ鯨カやうらうらかさひて花雲
常矩

藁いゝゆづれ藤のたうれ
定治

宗雅七 如葉七

利次七 由卜七

常矩九 定治七

由卜

魚箸イサシや力チカラをそ入いれて江鮭エサシ

花ハナよなる蓼シロ多タああすむ栗栗 常矩

古釣瓶コツボ土氣ツキくれれききりて 如葉

石イシ灰ハイのやれやれ新ニんん下下路路 定治

茂モ架カ籠カゴ竹タケ漆シそそるるひひぬぬ養ヤウらら 利次

天アメ一一ことこと雲クモ乃乃むむくくらら 宗雅

太タイ鼓コ張テううめめりりたたほほらら次次 常矩

志シののゆゆんんああももてて寝ね道道具具のの山山 由卜

大オホよよささのの松マツ乃乃くくそそああてて蔭かげ燐りん 定治

戀コイ女メんん沖ウチ漕カウここらられれ浦ウラ船フネ 如葉

扈コウ從ジュウ教キョウ奇キ素ソななりり御ミ色イロくく 宗雅

いいくく夜ヨのの枕まくら跡あと目めああとと海うみ 利次

傳ツタ受エ事シ括くわややららななるる家イ家イ付ツキ 由卜

るるゆゆりりああてて黄オウ金ゴンそそんん桐キリ 常矩

極キョク樂ラクのの度タビ紙シ障シヤウ子シ好コウととひひ 如葉

地獄乃釜本白粉の鬼セ 定治

御取らるる目連の母下女ツ 利次

さら辨台の人れワ 宗雅

くらつひシ 借老同穴シ 懸シ 圖ツ 子 常矩

日比のちシ 神合カ ぬハ 川 由卜

供ヨ ありリ 本ホ 志シ ぬル 坊ボウ のノ 志シ となナ 定治

二番つツ こそソ 山ヤマ 笑シ かなナ 如葉

名 爲ナ りリ 重シ 小コ 重シ 小コ 重シ 宗雅

香ツ 銀カ としてシ 嵐カ 小コ 一ヒ 一ヒ 利次

香カ 包ホ やヤ 小コ 一ヒ 一ヒ 月ツキ 如葉

芭蕉乃ノ 志シ 小コ 重シ 小コ 重シ 常矩

大オ 口ホ 舌セツ 一ヒ 度タク のノ 志シ 小コ 重シ 小コ 重シ 由卜

役ヤク 付ツ 志シ 小コ 重シ 小コ 重シ 定治

法ホウ 事ジ 小コ 重シ 小コ 重シ 利次

飯イ 其コ 志シ 小コ 重シ 小コ 重シ 宗雅

燒ヤキ 鹽シホ やヤ 志シ 小コ 重シ 小コ 重シ 常矩

齒の仕わりも人のいふやう 由卜

大の皮を夜のみかきつゝも 定治

暖浦いさめて待夜むたふ 如葉

酒乃司歩なまほる神のま 由卜

繪馬のねよ彼ささしとふ 利次

新うつむき鑰さして水青し 宗雅

本薬研の谷ねりやとる 常矩

唐より散志く山のり錦 如葉

男麻の床れ伏見海道 定治

世擔よ文切月わあなん 利次

引茶うくても水まこれ雲 由卜

廻向すゆけ方を寝花のる 常矩

先今日ハ子代の看尻 宗雅

由卜八 常矩八

如葉七 定治七

利次七 宗雅七

定治

床乃音わ告て尿瓶シヒシの小夜時雨

婦とくろふ入猫の目乃月 利次

あがり鳥賊イカ小枝よ白ふ兼候て 宗雅

乱舞の考れ根さくくしあや 常矩

肺サカの猿サテ実なる此代のかさなる 由卜

或ア聞書く一松樹子年 如葉

家尺て七は六人のわくひらさ 利次

童子ウを時とわくく一はく 定治

四ウの文すてよ二階れはよわと 常雄

あついにあつす水怪のいふ 宗雅

はらるる命の無量壽佛わ 如葉

沙汰一やさるる念者あとあす 由卜

名那那あや甲あ方あつて未あ候 定治

儉あ役あ志あくくきあとて秋 利次

断あ付あのあもあすあにあ志あびありあ月あをあ 宗雅

人肥こらちがふあまの山 常矩
 癩コ室コよふ根味コの海コんて 由卜
 沖コの小橋コよ磨コこさみとく 如葉
 ゆびコさの親コよ告コよ家コあわと 常矩
 人コ買コよ身コ成コ小判コ市コす家 定治
 志コ乃コ雲コ古コ心コをコよつて十日切 利次
 やコのコのコのコつコのコ多コ 宗雅
名 世コ未コ寅コ申コ外コ酉コらコのコ表コ 如葉
 こコうコめコろコねコまコしコ象コ眼コのコ雪コ 常矩
 こコうコめコろコ神コのコ川コ勝コ東コにコ任コ 定治
 前コ道コのコうコれコおコちコ子コちコんコ 由卜
 金カ成コめコ須シ達タをコよコるコれ 常矩
 真コ山コ双コ林コ丸コ山コぬコ家コまコし 利次
 真コ葛コらコ京コ脚キ胃イ窓キ下コ地コのコ凡コが 宗雅
 揚ア浩ダよコをコわコれコらコ乃コ羽コをコよコ 由卜

とらぬ田舎者 志の衣うら 定治

筒ももせしる魚ウサ其の月 利次

新乃物成親にやまよれ 由卜

懐雨乃介よつても松の雪 如葉

尺さめこのごまぬらんこもて 常矩

名よふるた御扶持の犬と蜀魂 定治

まゝに秋深きらん ちるゆらぬ馬 宗雅

初發心くさくさし 里れ鐘やうて 由卜

交野のま柴茶提もと 樹ウサ 利次

法性のこあるかしの花やらん 宗雅

空そそひえそい 灘各そんま 如葉

中忌れ一角仙人 赤うとくえ 常矩

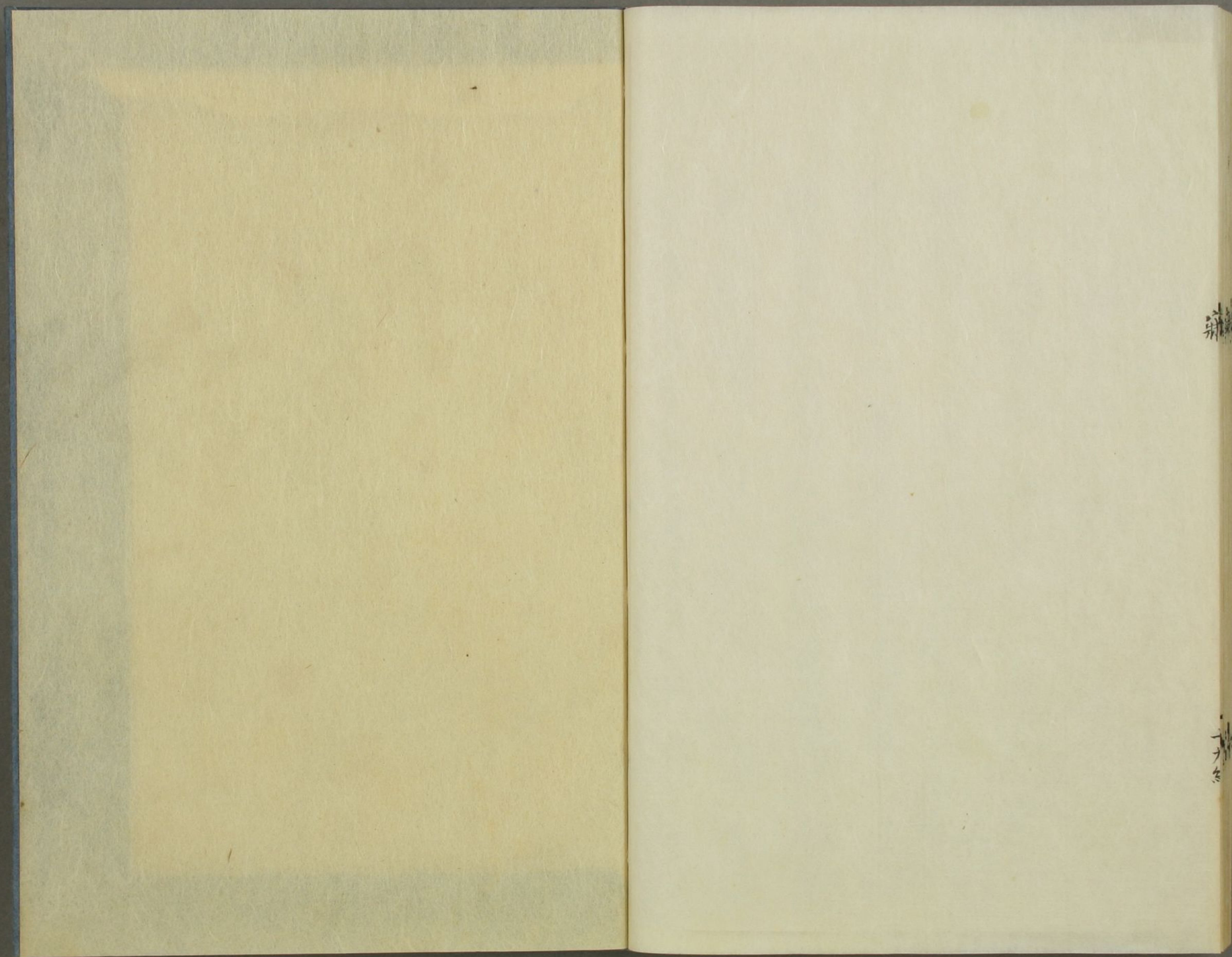
雲ちぢまうして 俳諧れ帯ウサ 蚊足

定治七 利次七 宗雅七

常矩八 由卜七 如葉七

執筆 蚊足一

寺町二条上北丁
舟筒屋庄兵衛板



新編

一
九
三
〇

